大人
ほきめたるえ

「校訓とともに」

じぶんから　みんなと　いっしょうけんめい

子ども
のやびれるば

長崎市立外海黒崎小学校
令和４年度学校だより
令和４年 10 月 21 日(金)
校長　溝　川　　浩

～のびる秋まっただ中～

心地よい日差しと時折吹く風が、秋の気配を感じさせます。学校では、マスク姿はいつも通りですが、徐々に活動を元に戻しながら、でも感染防止の習慣を続けながら集団学習を展開してます。

9/25 運動会では、多くの保護者の皆様に来場いただきました。子どもたちの学びの成果を見届けていただけたことと思います。入場制限につきましては、住民の皆様には残念な思いをさせてしまいました。今後、徐々にご来校いただけるよう計画して参ります。

１０月と 11 月は最も伸びるシーズンです。情操、知性、体力いずれも伸びる取組を学校で繰り広げています。保護者の皆様におかれましては、重ねてお願いいたしますが、子どもが伸びるために「早く寝る→早く起きる→しっかり朝食をとる→決まった時間に登校する」の生活リズムについて、ご家庭でも鍛え褒めながら身につけていただくよう、引き続きお願いいたします。

今週、視力検査、そして読書の秋にこそ大切な目の保健指導を行いました。本は心を育てます。時にはスマホを休めて親子で読書はいかがでしょう。

小学生はなぜ算数でつまずくの？

算数は、得意、不得意がはっきりと出てしまう科目です。算数が苦手な子は、どんなところでつまずいているのでしょうか。算数のつまずきポイントを探ると、効果的な学習法も見えてきます。

算数は「積み重ね」が大事

算数は、それぞれの単元が独立しているのではなく、前に学んだことを一つひとつ積み重ねながら学習を深めていきます。新しい内容を学習するとき、なかなか理解できず、つまずく子がいますが、実はそれは、ひとつ前の学習内容が十分理解できていないことが原因かもしれません。

例えば、割り算が苦手な場合、その前の内容である掛け算の理解ができていないことが考えられます。前の単元でのつまずきをそのままにしておくと、その後に教わったことも十分理解できなくなってしまうおそれがあり、そのままにしていると、次第に算数嫌いになる心配もでてきます。

過去を振り返り間違いや弱点を見つけよう

算数が不得意で苦手意識を持つ子でも、つまずきポイントを見つけて復習・補習すれば、みるみる算数が得意な子に変容します。積み重ねが基本の算数は、今まで習ったところをさかのぼり、理解できていない箇所を大人と一緒に見つけることが大切です。特に注意したいのは、「何となく」でやり過ごしてしまったところ。そのときは簡単に解くことができても、「何となく」でしか理解していなければ、学習内容が定着せず、時間が経つにつれ、解き方を忘れてしまいます。

前の学習を振り返り、自分の弱点を見つけることは学力 UP の近道です。将来必ずやってくる進路選択のためにも、小学校では復習に重点をおいた学習を取り入れましょう。

学校では、個に応じて復習させる時間が十分にないのが現状です。お子さんの学力 UP のうえでも、どうかご家庭でも定期に学習理解の確認をお願いいたします。数年後の進路選択のためにも。

授業は、後の進路選択に影響する最重要な学びです。時に忘れ物が気になるお子さんについて耳にします。お子さんの状況に合わせ、必要に応じてご指導ください。

天気も味方し、運動会が無事実施できました。踊り付き玉入れはいかがでしたか。来年こそは赤組の勝利を期待します。ソーラン節も皆よく演技できました。

小体会バスケでは見事２位を獲得！みんなよく走り、ボールをよく運び、得意・不得意な人一人ひとりが輝いた素敵な oneteam でした。拍手を送ります。